

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこプラス美原		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日		～ 2024年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭ではなかなか経験できないことを行事などを通して経験できるように設定している。	子どもたちの「やりたい」を形にしたり、どんなことに挑戦したいかなどアンケートを取り、意見を取り入れるようにしている。	子どもたちだけではなく、保護者の方にも意見を聞き、どんなことに挑戦させたいなど行事として組み入れて計画を立てていきたい。
2	将来の自分と向き合える時間を活動や行事を通して経験できるようにしている。	事業所内での活動ではメリハリを持って参加することができるよう、言葉遣いや姿勢などのマナーについて確認を行ったり、活動意欲を持って参加することができるよう目的を明確に示しながら設定している。	事業所全体としての取り組みの他に、個々に合わせた支援の仕方でも個々の力を伸ばしていけるよう職員間で情報を共有しながら統一した関わりを持てるようにしていきたい。
3	将来を見据えて活動設定、活動参加の仕方について学べる機会を設けている。	就労支援事業所の見学に行ったり、実際に「働く」を経験できるようにイベントとして「のこカフェ」の開催をしている。	就労支援事業所等の見学を多く取り入れたり、事業所内での取り組みと社会に出てからの違い、業務内容や心構え等を学べる機会を設けていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学童や地域の方々との交流が少ない。	近隣からの理解が得られないことがある。 職員間では相談し検討する機会を設けてはいたが、様々なリスクがあることもあり、実現できるまで時間がかかってしまっている。	情報を集め、日にちが合えば近隣の学童や児童館のお祭りやイベントに参加したいと思っている。
2	父母会など、保護者の方との交流が少ない。 送迎時、または親子行事のみとなっている。	職員間では茶話会等の提案をしていたが、様々なリスクがあることもあり実現できていない。リスクに対する解決策がまとまっていない状況。	行事としてのこカフェや運動会、夏祭りを今後も開きながら、少しでも多く保護者間の交流の機会を設けていきたい。
3	事業所での子どもたちの様子を保護者の方に見てもらえる機会が少ない。	コロナ禍で実施が難しかった。	今後は参観日等を行なっていきたい。事業所での頑張っている姿、家や学校とはまた違う様子を少しでも多くの保護者の方に見て頂きたい。